

ひょうたん島通信

大槌発! 第20回

岩手県大槌町の大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センターのすぐ目の前に、蓬萊島ほうらいじまという小さな島があります。井上ひさしの人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルともされるこの島は、「ひょうたん島」の愛称で大槌町の人々に親しまれてきました。ひょうたん島から大槌町の復興、そして地域とともに復旧に向けて歩む沿岸センターの様子をお届けします。



東京大学と大槌町との連携・協力協定

道田 豊 大気海洋研究所国際連携研究センター教授 国際沿岸海洋研究センター兼務

大槌町は震災から4度目の夏を迎えます。がれきや被災した建物の撤去が進み、盛土の工事なども始まって、街並みは急速にその姿を変えつつあります。ひょうたん島通信第7回でご紹介した大槌町中心部の様子も様変わりし、かつて筆者が住んでいたと思われる場所に立ってみても、周囲の同定が難しくなりました。一抹の寂しさを感じる反面、それは街が再生に向けて動いている証と前向きにとらえたいと思います。

国際沿岸海洋研究センター（沿岸センター）の近くでも、研究棟の前から蓬萊島（ひょうたん島）に伸びる突堤が先日再建され、島の近くまで徒歩で行けるようになりました（写真）。また大槌漁港では、地盤沈下した岸壁のかさ上げなど復旧工事が進んでいます。

平成25年は、前身の大槌臨海研究センター設立から数えて40年という節目の年でした。これまで沿岸センターが40年以上にわたりお世話になっている大槌町という、本学にとってかけがえのない町の震災復旧・復興に向け、町と本学との緊密な連携を目的として、「国立大学法人東京大学と大槌町との震災復旧

及び復興に向けた連携・協力に関する協定書」が結ばれています。震災からほぼ1年経過した平成24年3月19日の締結式には、碓川豊町長と濱田純一総長が出席し、協定書に署名しました。協定には、連携・協力事項として、「震災復興に係る施策への助言」「地域の社会・産業・文化の発展

への寄与」「まちづくりに向けた教育及び人材育成に関する取組みの推進」等が列挙されています。この協定のもとで多数の連携・協力活動が行われており、本学関係者と町の担当者間で協定に関する連絡会議も適宜開催して、活動の進捗状況を確認し、方針を話し合っています。

震災から3年、協定締結から2年が経過し、震災復興事業も計画作りから実行段階に入ってきました。町と本学の連携活動も、震災復興における役割や性格が少しずつ変わりつつあると感じます。さまざまな復興事業の中で、より効果的な

再建された蓬萊島に至る突堤。突堤両側の海水交換を促進する目的で、海底部分に何箇所か「通水孔」が設置されているそうです。



連携・協力を進めるため、相互の連絡を一層密にする必要があるでしょう。

大槌町役場の佐々木健氏は、「広報おつち」に連載中のコラム「大槌学のすゝめ」第13回（平成26年5月7日）、「花見酒の経済からの脱却」と題する文章の中で、地域内循環経済に留まらない、実体が残る「まちづくり」の必要性を訴え、「進取の気概を」とコラムを結んでおられます。復興事業が本格化する中、こうした熱い気持ちに本学はどう応えて行くのか、協定に基づく活動の真価が問われるステージに入りました。

ぴーちゃん日記

「チャレンジデー 2014」の開催

大槌町で、5月28日に「チャレンジデー 2014」が開催されました。この「チャレンジデー」、聞きなれない方がほとんどかと思いますが、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ自治体同士が対戦し、15分以上継続してさまざまな運動やスポーツをした住民の「参加率」を競い合います。敗れた自治体は、相手自治体の旗を庁舎のメインボールに1週間掲揚し相手の健

闘を称える……と、いうものです。

大槌町では2005年より連続してこのイベントを実施してきました。今年は秋田県五城目町と2度目の対戦でした。前回2009年は大槌町が勝利しておりましたので、五城目町はリベンジに燃えておりました。しかし結果は、「大槌町：参加率56.5%、五城目町：参加率50.2%」で今回も大槌町の勝利[※]でした！

震災後は、各地区でラジオ体操を行う等の取り組みをしており、チャレンジデ

国際沿岸海洋研究センター事務職員の「ぴーちゃん」です。5年前、岩手大学から出向で沿岸センターに着任し、大槌町で3年程過ごすも、震災によりふたたび岩大に異動。2年の時を経て2013年4月から戻ってきました。

ーでの取り組みが更に、恒常的に仮設住宅にお住まいの方々始め、町民の皆さんの運動や交流の機会作り、町全体の元気回復に役立っています。



大槌町と東大が協力してつくった「大槌びんころ体操」で参加！

※人数等詳細は大槌町HPに掲載中→<http://www.town.otsuchi.iwate.jp/docs/2014061600015/>

制作：大気海洋研究所広報室（内線：66430）